

# ハチ博士の ミツバチコラム

16



京都大学 園芸学部  
環境学教授  
大塚文夫 京大  
バイオ

## 皇帝ダリア

最近、見上げるように背の高いダリアを見かけませんか？皇帝ダリアというぴったりの名前が付いていて、中央区役所の屋上庭園にもあります。夏から秋にかけて3〜4メートルの高さになり、晩秋の花の少ない時期に開花するので、蜜源植物として貴重な存在です。

皇帝ダリアはメキシコ原産の原種で、学名のダリア・イ



イラスト おおくぼひとみさん

ンペリアリスから「皇帝」の名前が来たのでしょう。茎が木質化するツリダリアの一種であることから、元来大柄の植物だったと推察されます。日照時間が短くならないと花芽ができないので、近くに街灯などがあるといつまでも花芽をつけないので注意が必要です。そのくせ、霜が降りるとつぼみのままで立ち枯れるのですが、今は霜の害も少ないので日本各地で栽培され人気の花になっていきます。株分けや挿し木で簡単に増やせるのも人気の理由のようです。

花言葉も「乙女の真心」と素敵で、秋晴れの空に映える澄んだピンクの花の姿に因んでいるそうです。昭和世代に比べ、平成の乙女は平均身長も高いので、大柄な花の花言葉が「乙女の真心」でも不自

然ではないですよ。鉢植えは大変そうですから、お庭のあるご家庭では皇帝ダリア栽培に一度挑戦してみませんか。中央区のビルの屋上に住んでいる二ホンミツバチ達へのまたとないプレゼントになると思います。



10月3日、中央区役所の屋上庭園で、飼育している二ホンミツバチの採蜜見学会を開催しました。当日は好天にも恵まれ、参加者の皆様には採蜜作業の見学に加えて、採れたてはちみつのおテイストリングをお楽しみいただきました。